

※このメールは東京都が開催いたしましたイベント等にご参加いただいた方、お名刺を交換して下さった方及びメールマガジンの配信を希望された方に BCC でご案内させていただいております。
※今後、メールマガジンの配信を希望されない場合には、お手数をおかけいたしますが、配信不要の旨、本メールへ返信する形でご連絡をお願いします。

東京都港湾局 物流通信 2026. 7. 3号 (第67号)

「令和8年度 東京港オフピークシャトル輸送実証事業」の 参画者募集開始

東京港の混雑緩和に向けたオフピーク搬出入の取組を強化

東京都は、午後や夕方に集中する傾向にある東京港へのトラックの来場時間を分散化させ、コンテナターミナルにおけるゲート前混雑の解消を促進するため、東京港と荷主・物流事業者の双方の課題解決に資する取組として、午前中などコンテナターミナルが比較的空いている時間帯に搬出入を行う「オフピーク搬出入」を推進しています。

令和6・7年度は、荷主企業と物流事業者と連携し、「東京港オフピーク搬出入モデル事業」を実施し、トラックの待ち時間の短縮や輸送効率の向上などの効果を確認しました。

これまでの取組を踏まえ、都は令和8年度から、東京港のオフピーク搬出入のさらなる拡大に向けて、「東京港オフピークシャトル輸送事業」を進めます。このたび、シャトル輸送事業の仕組みづくりにご協力いただける企業を募集し、下記のとおり事業を実施しますので、お知らせします。

1 募集概要

シャトル輸送事業の仕組みづくりに向けて、港内シャトル事業者に輸送を依頼し、検証にご協力いただける荷主企業及び陸運事業者を募集します。

2 事業規模

東京港デポの使用区画数：計40区画

- ・シャトル輸送事業：20区画
- ・モデル事業：20区画

※東京港デポは「大井北時間貸しシャーシプール」の一部の区画を活用する予定です。

※モデル事業用の20区画は、令和6・7年度に実施したモデル事業の推進のため、シャトル輸送事業にご参画いただく事業者を提供します。

3 募集対象者

東京港を利用する荷主企業（フォワーダーも含みます）と陸運事業者が連携して応募してください。なお、応募主体は荷主企業及び陸運事業者のいずれも可能です。

4 申請受付期間等

令和8年7月2日（木曜日）から7月29日（水曜日）12時（必着）

※ 詳細は、次のURLからご覧ください。

（事業プロモーター：株式会社野村総合研究所HP）

https://www.nri.com/jp/news/public_offer/tokyoport_offpeak_shuttle_2026.html

（東京都報道発表）

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2026/07/2026070209>

東京都港湾局 HP（東京港の物流効率化に向けた取組み）

<https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/logistics/>

メールマガジン「物流通信」のバックナンバーはこちら↓

https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/post_8.html

問合せ先 東京都港湾局港湾経営部振興課 S0000517@section.metro.tokyo.jp